

# Agile AI/DX Implementation

机上の空論から、動くシステムへ。  
AIを「語る」フェーズを終え、  
業務インフラとして「実装」する。

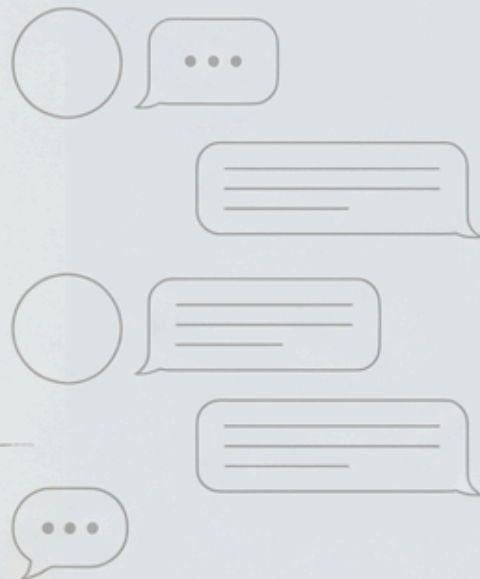
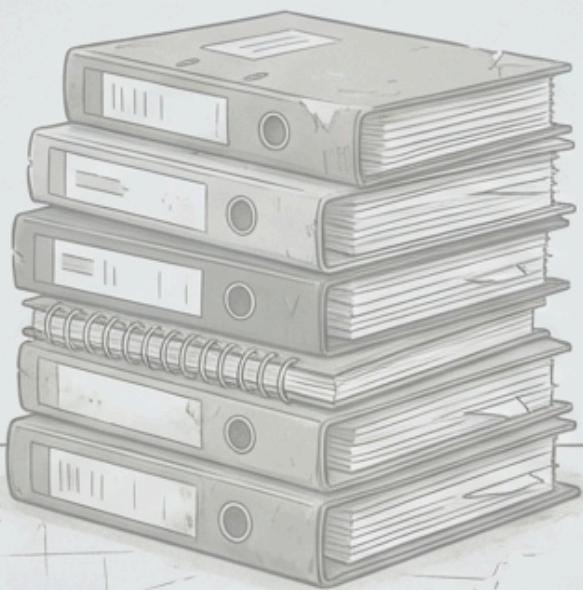
## 私の出来る事

**\*\* 実装編 \*\***

RAPID PROTOTYPING & ENTERPRISE AI INTEGRATION



## Desktop Theories (机上の空論)



- 汎用AIの導入のみ
- 現場の業務フローと乖離
- 終わらない要件定義

## Working Systems (動くシステム)

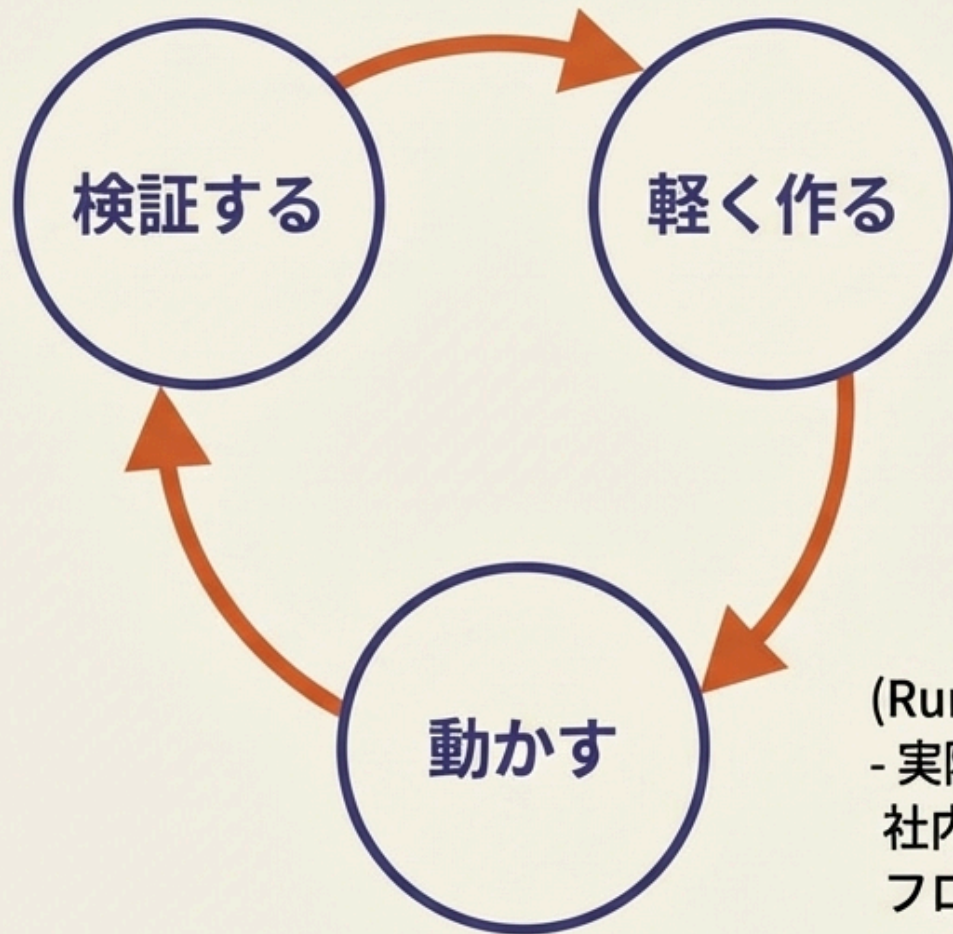


- 独自データ (RAG) の連携
- 既存業務パイプラインへの統合
- アジャイルなプロトタイピング

AI導入が失敗するのは「企画」で止まるからです。単にAIと「チャットする」時代は終わり、AIを業務フローに「組み込む」時代が始まっています。

(Verify/Iterate)

- 現場のフィードバックを即座に反映し、精度とUXを改善する。



(Build Light)

- 要件定義に数ヶ月かけず、数日でコア機能をプロトタイプ化。

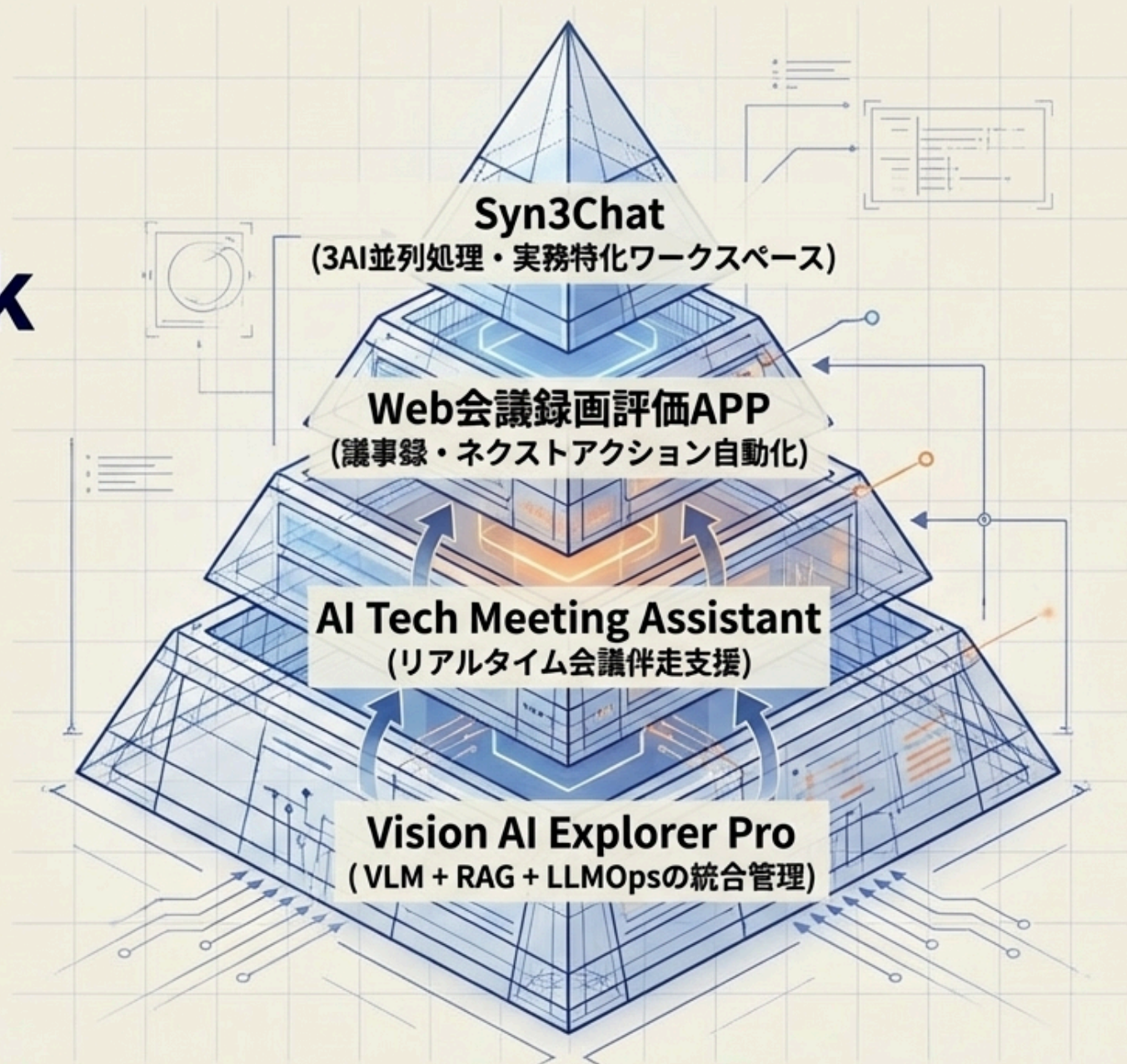
(Run)

- 実際の現場データ（録画、音声、社内ドキュメント）を投入し、フロントエンドで検証。

私はレポートを書くアドバイザーではありません。ビジネス要件を理解し、自ら手を動かして「実際に動くAIアプリケーション」を最速で構築・検証する実装のプロフェッショナルです。

# 実装力の証明： The Agile AI Stack

これらは単なるアイデアではありません。すでに開発・稼働している4つの実務アプリケーションを通じて、あらゆるレイヤーのAI・DX実装能力を証明します。



# Proof 1: Syn3Chat (3AI並列処理ワークスペース)

「考える・比べる・まとめる」を1画面で完結。

デモ: <https://ultraai-core.com/synchat/index.php>



## 並列処理:

複数のブラウザを行き来するストレスをゼロに。GPT、Claude、Grok等、特徴の異なる最高峰モデルを同時に実行・比較。

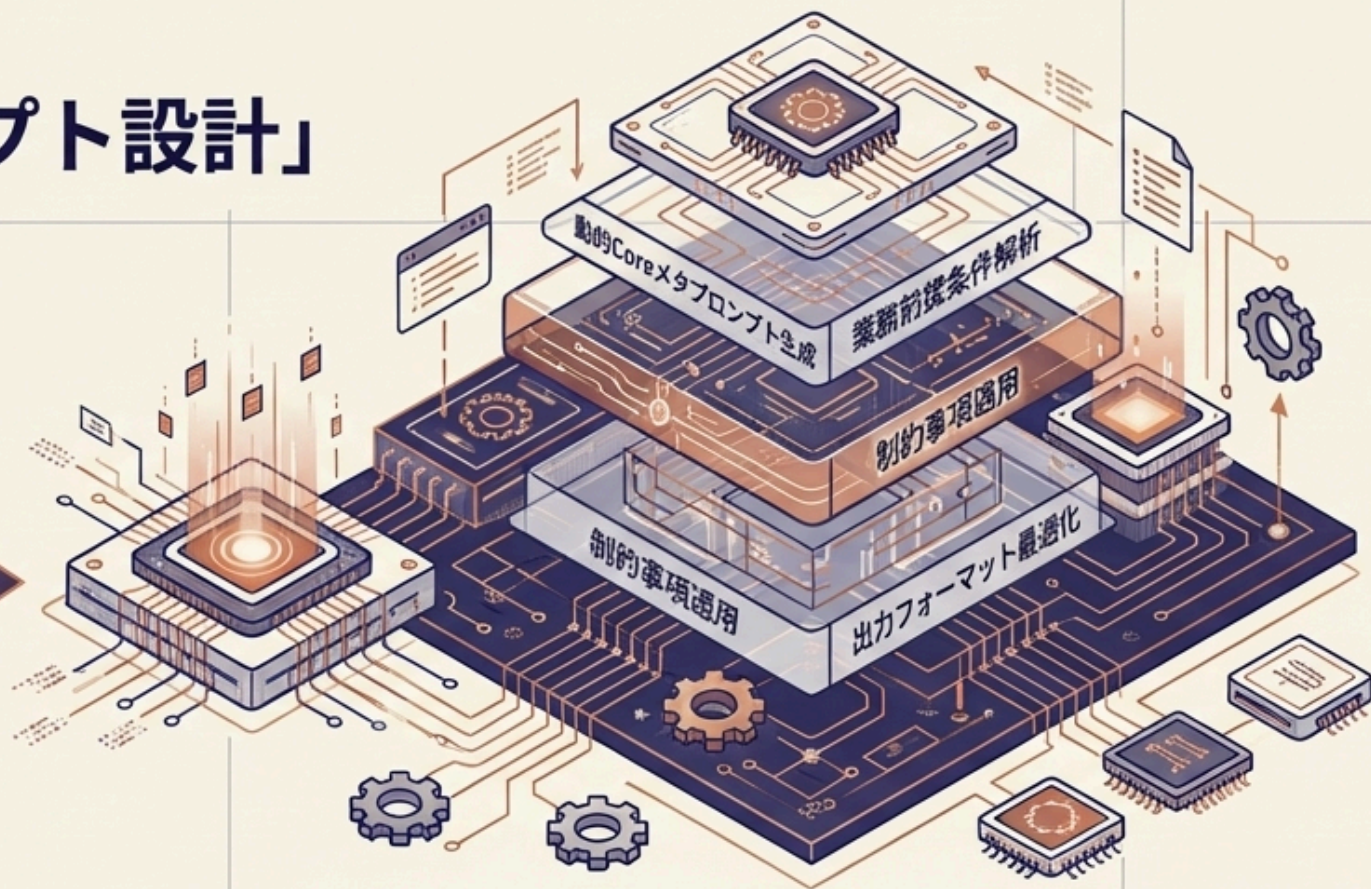
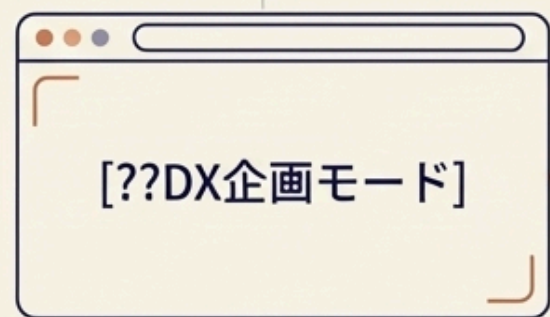


## 視点の統合:

「GPTの抜け漏れのない標準案」と「Grokのエッジの効いたアイデア」を比較し、「Claudeで最終的なドキュメントへ統合・整形」する次世代のワークフロー。

The screenshot displays the Syn3Chat interface with three parallel chat windows. On the left is a sidebar with navigation options: '+ 新しいチャット', '履歴', '新しいチャット', 'ブロード', 'コンテント管理', '設定', '重複取', and '新しいチャット'. The top chat window is titled 'GPT-4o mini (標準案)' and contains a prompt '私の思考 (デジタル思考) における以下の分野で特に得意です: ...' and a list of bullet points: '・オプションの提供', '・アプリケーションの提供', '・リアリティを高めるためのアイデアを提供', and '・結果を迅速に返すこと'. The middle chat window is titled 'Grok (別視点・差別化)' and contains a prompt 'へへ、動作テストクリア! S40X 実装の...' and a list of bullet points: '・実際のシミュレーションをテストクリア!', '・60%のファクトルを動的に監視', '・いつ、何をしたいかを監視した結果', and '・結果のフィードバックを迅速に提供することによって最適化します。'. The bottom chat window is titled 'Claude (統合・整形)' and contains a prompt '動作確認ありがとうございます。私の得意分野をお伝えします: ...' and a list of bullet points: '・動作確認の重要性、含意性', '・結果を、リアルタイムで提供。...', '・結果を統合的に提供', and '・結果を、迅速に提供することによって最適化します。'. A text input field is visible at the bottom of the Claude window.

# 非エンジニアのための 「隠された高度なプロンプト設計」



## 魔法の呪文「??モード」：



ユーザーはプロンプトの知識が一切不要。「??DX企画モード」のように入力するだけで、裏側でAIが自ら最適な指示書（特殊動的Coreメタプロンプト）を瞬時に構築。

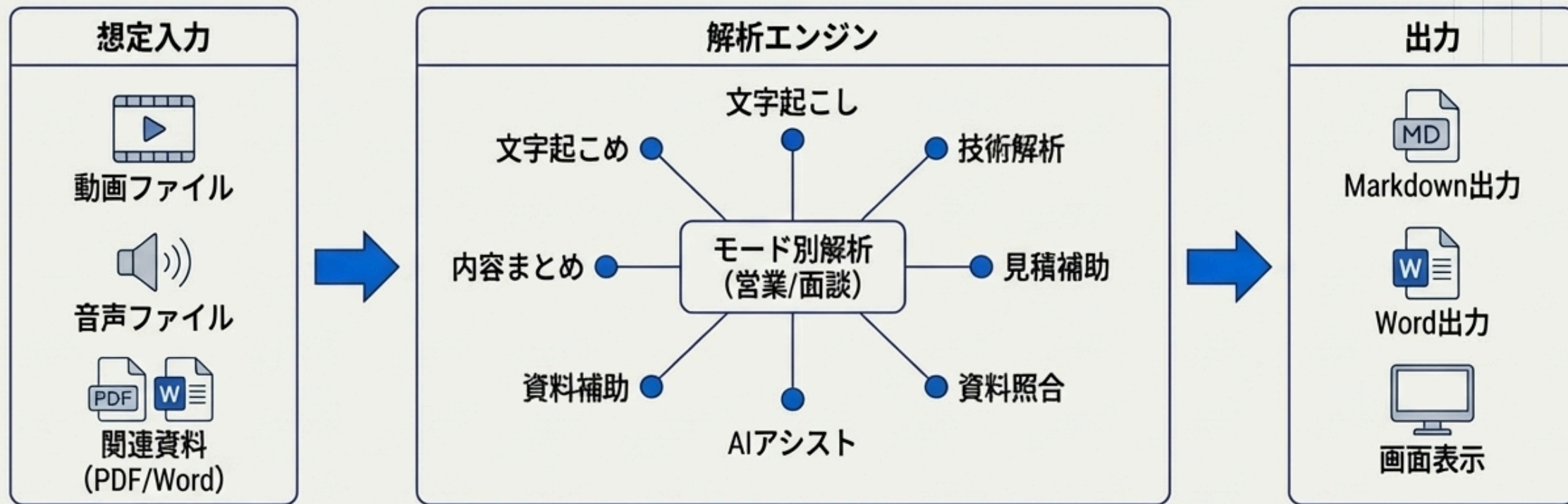
## コンサルティングレベルの出力：



入力1回で、業務の前提条件、制約事項、出力フォーマットを網羅した高度な出力環境が自動で立ち上がります。

# Proof 2: Web会議録画評価APP

1時間の商談・面談の後処理を、AIで完全自動化。



## 圧倒的な時短:

会議録画を入力するだけで、高精度な文字起こしから、決定事項・ネクストアクションを瞬時に抽出。



## 確実な品質担保:

アップロードされた提案資料 (PDF/Word) と、実際の口頭説明の間・の「差分」や見落としを自動抽出 (資料照合機能)。

# 汎用要約を超えた、コンテキスト特化型のビジネスインテリジェンス

面談モード

営業モード

## 営業モード (Sales Mode)

- Focus:
  - ・要件定義
  - ・コスト・スケジュール
  - ・提案の妥当性

Evaluates the technical architecture and generates a preliminary cost estimate structure.

## 面談モード (Interview Mode)

- Focus:
  - ・人物評価
  - ・受け答えの質
  - ・対話のフロー

Assesses non-verbal nuances and logic.

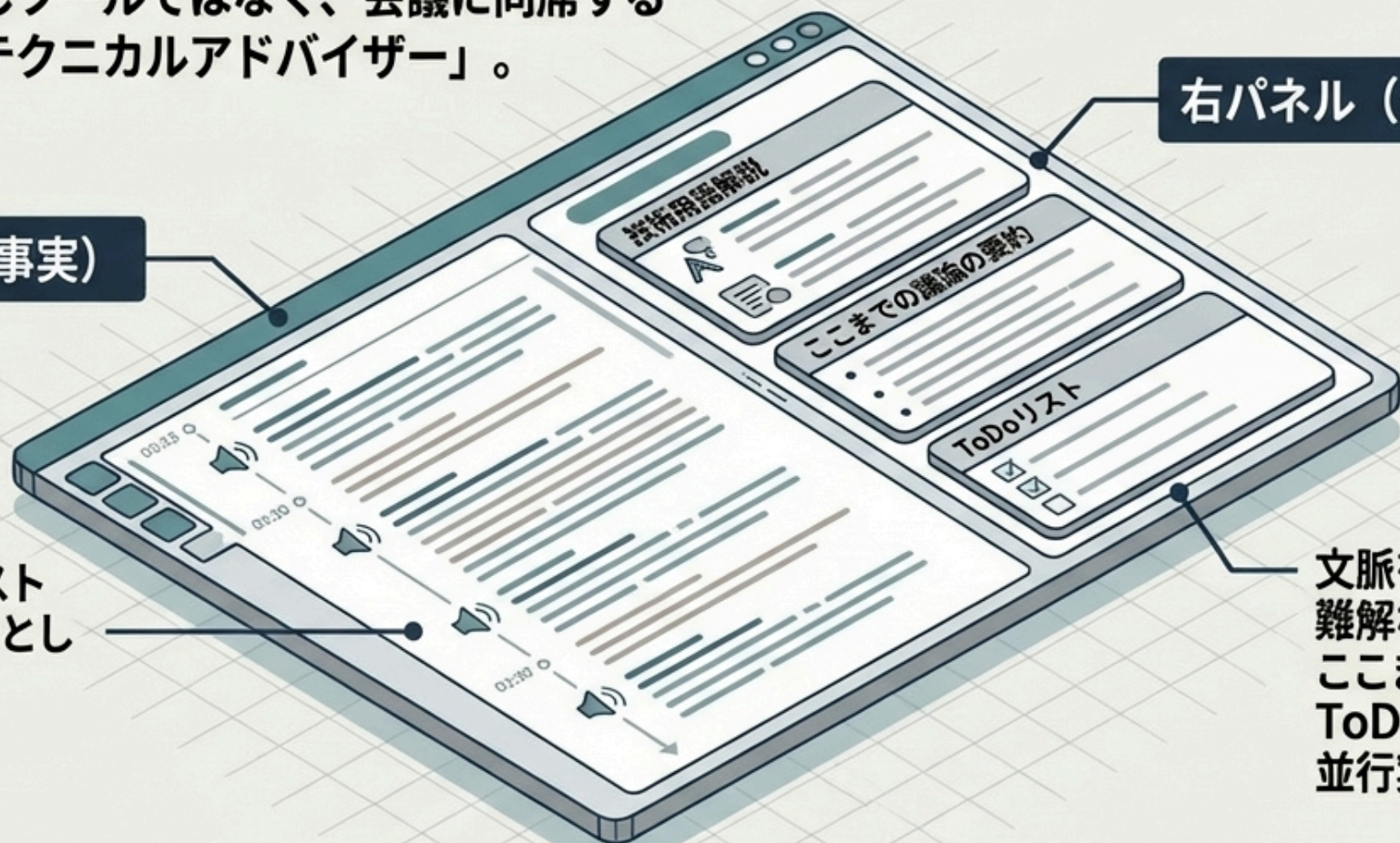
# Proof 3: AI Tech Meeting Assistant

技術議論をリアルタイムで加速させる「伴走型」AI。

単なる文字起こしツールではなく、会議に同席する「優秀な書記兼テクニカルアドバイザー」。

左パネル (事実)

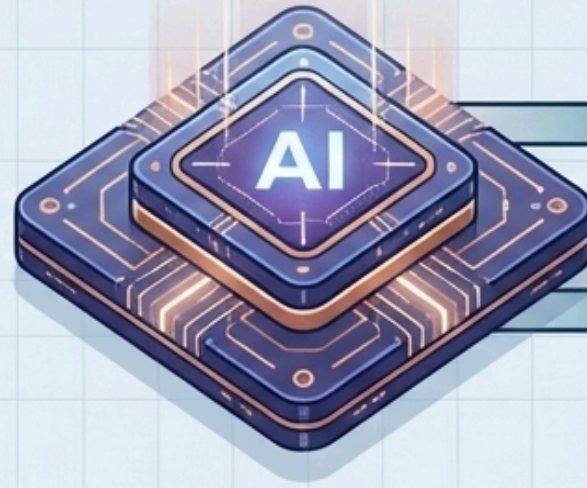
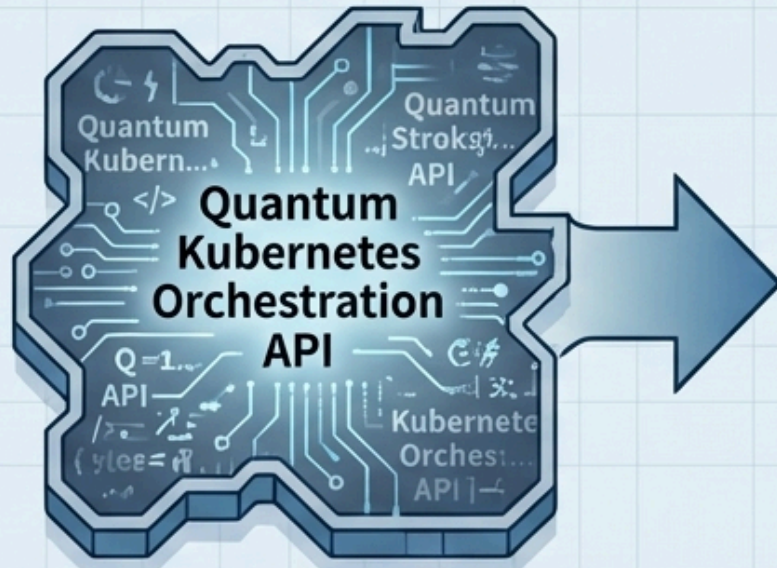
発言を即座にテキスト化し、タイムラインとして表示。



文脈を理解したAIが、難解な技術用語の解説、ここまでの議論の要約、ToDoの抽出を自動で並行実行。



# 専門用語の壁を取り払い、思考を同期する


## 難解な技術用語



## 明確な定義

コンテナオーケストレーションとAIの統合。

 社内ドキュメント  
 関連資料へのリンク

 文脈に基づく補足説明

### 即時用語解説:

新メンバーや非エンジニアが参加する会議でも、AIがその場で技術用語を翻訳・解説し、理解の遅れを防ぎます。

### 文脈の記憶と深掘り:

会議の流れを完全に把握したAIに対し、右パネルでチャット質問が可能。「さっきの設計案のリスクは？」といった議論の深掘りをサポートします。

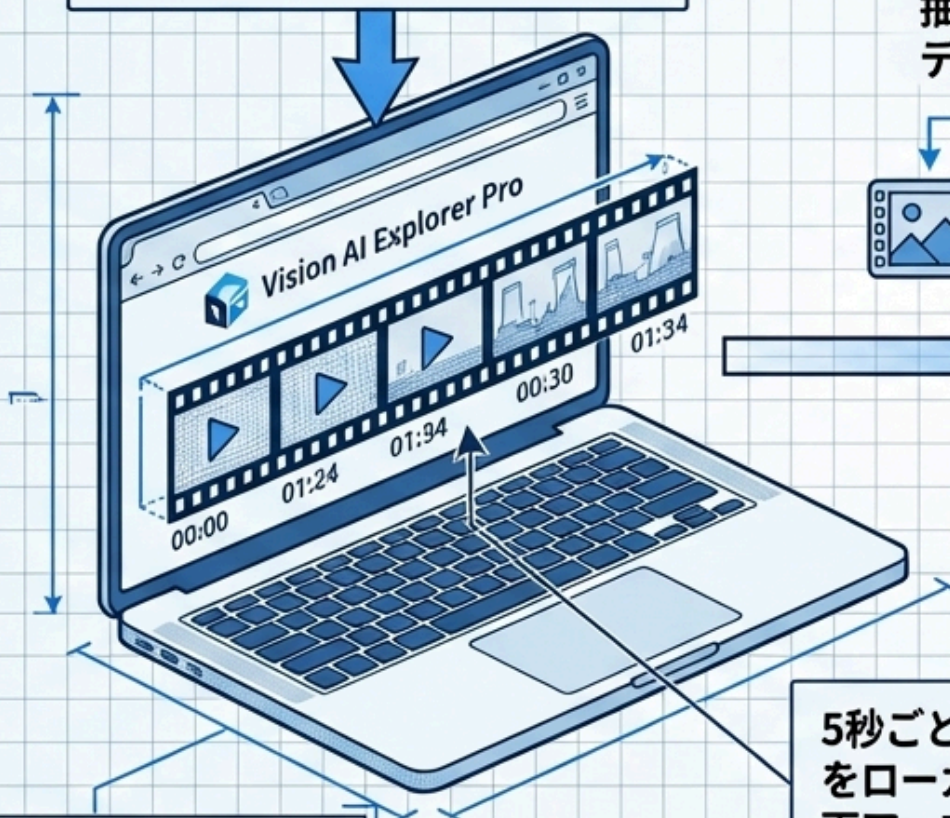
# Proof 4: Vision AI Explorer Pro

「使うだけのAI」から、現場を理解し、進化し続ける「統合ポータル」へ。

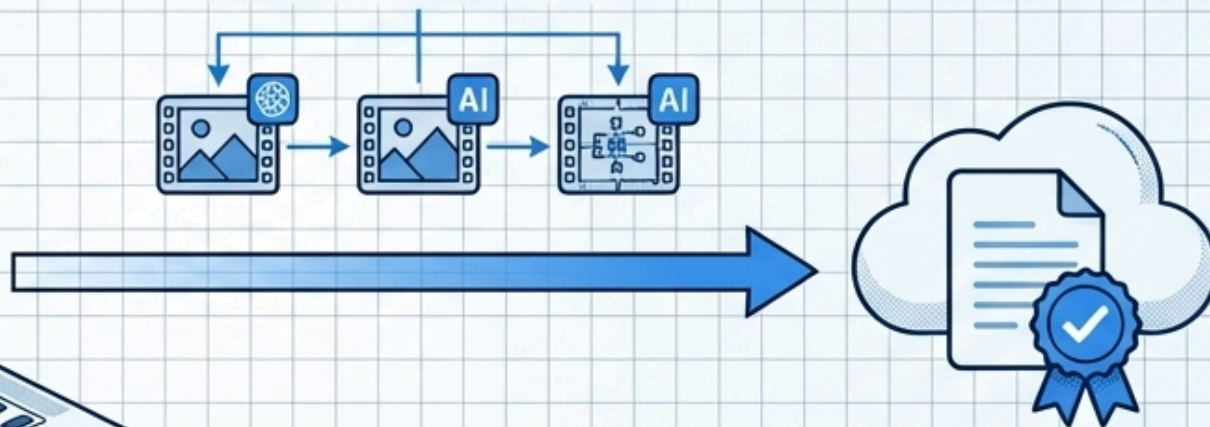


# ヘビーデューティーなマルチモーダル処理の実装

ユーザーが最大2GBの重い動画 (MP4/MOV) をドロップ。



抽出された軽量な画像データのみをAIへ送信。



5秒ごとの画像 (キーフレーム) をローカルで自動抽出。重い動画アップロードを回避。

長尺動画の高精度なコンテキスト解析を瞬時に完了させます。

**課題:** 一般的なAIツールは容量制限により長尺動画を処理できない。

# AIの稼働状況を完全に掌握する「LLMOps」

## コスト最適化指標:

AIの総実行回数とトークン消費を把握し、クラウド利用コストの予算管理を可能に。

## 安定性指標:

エラーなく正常処理された割合 (Success Rate) を監視し、業務プロセスの信頼性を担保。

## 品質改善ログ:

「いつ、どの機能で、どんなプロンプトが実行されたか」を全記録。エラー原因の究明と、継続的なプロンプト改善ののループを構築。

## LLMOps Dashboard

Total Inferences

10,542

Success Rate

99.8%

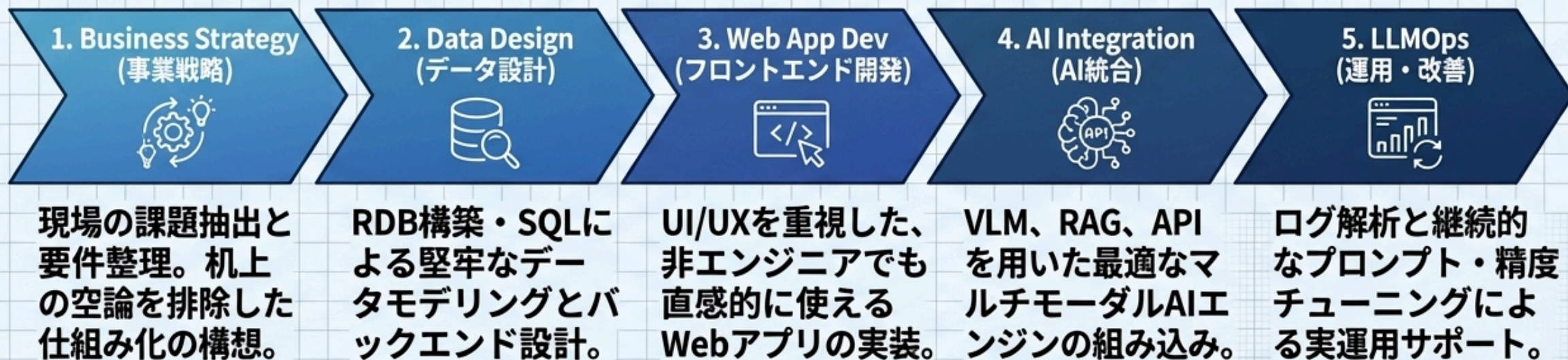
### Prompt Log

Timestamp	Prompt	Duration	Status	User ID
2024-03-15 10:05:22	Summarize report Q1	1.5s	Success	User789
2024-03-15 10:08:45	Translate to French: Hello world	0.9s	Success	User456
2024-03-15 10:12:10	Generate image of cat	3.2s	Error	User123
2024-03-15 10:15:30	Code python function for sorting	2.1s	Success	User789

# 汎用AIツールと独自実装システムの圧倒的な機能差

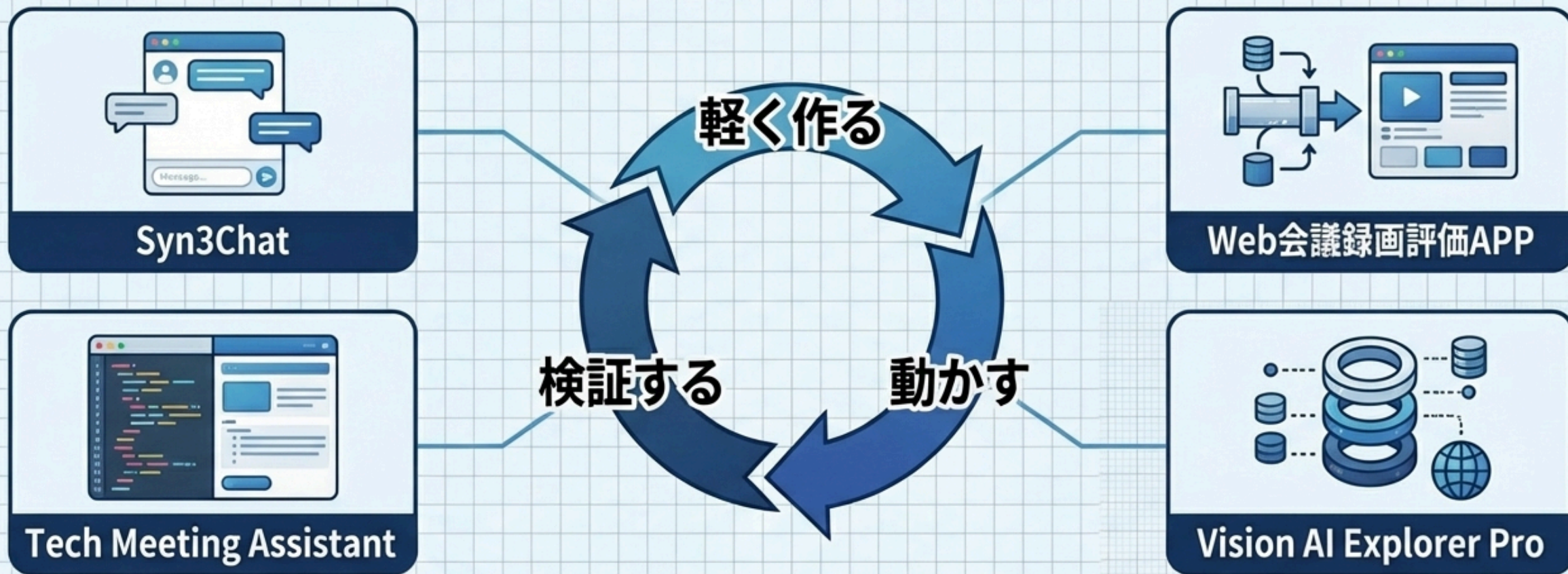
機能 (Feature)	一般的なAI (Generic AI)	独自構築システム (Purpose-Built AI)
入力データ (Input)	テキスト・軽量画像のみ	最大2GBの長尺動画・音声・マルチモーダル解析
回答の根拠 (Knowledge)	一般的な学習データ (不正確なリスク)	社内PDF/CSV等の独自ドキュメントに基づく精緻な回答 (RAG)
運用・監視 (Ops)	ブラックボックス (利用実態が不明)	推論回数、成功率、ログをリアルタイム可視化 (LLMOps)
ユーザー体験 (UX)	エンジニア向けの複雑な設定	完全シロート向けの直感UI+裏側での動的プロンプト生成

# 構想から運用まで、一気通貫の実装力 (The Implementation Powerhouse)



「ビジネス側と会話ができて、データ設計を行い、実際にコードを書いてシステムを動かせる」のが最大の強みです。

# AIはツールに過ぎない。実装力こそが競争優位となる。



- 私たちはレポートを納品して終わりにはしません。
- 業務の解像度に合わせてAIを最適化し、「実際に動くシステム」として貴社の業務インフラに組み込みます。
- 現場の課題解決から、全社のAIインフラ統括まで、アジャイルに構築・検証を回し続けます。

# Next Action: 貴社の環境で、実力を検証しませんか？

まずは、実際の現場の課題やデータをもとに、プロトタイプの有用性をディスカッションさせてください。

## 【ご相談特典】

お問い合わせいただいた企業様には、  
商談や面談の品質向上に即活用できる  
「Web会議録画・録音解析 補助アプリ」を  
特別進呈いたします。